



Lend a Hand 「手を貸そう」
2003-2004 年度国際ローラーのテーマ

RI 会長 ジョナサン B. マジニアベ
第 2640 地区ガバナー 前窪貴志



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1359 回例会 16 年 6 月 6 日(日)

於 淡路島 イングランドの丘

1. 開会点鐘 会長 田中丈士
2. ロータリーソング 「奉仕の理想」
3. ゲスト紹介 会員の奥様とご家族
4. 出席報告

会員総数 73 名 出席者数 73 名 出席免除会員 2 名
出席率 100% 前回修正出席率 84.51%

5. 会長スピーチ 会長 田中丈士



今日は、6 月とも
なりますと吹く風も
初夏めいてまいりま
した。本日の家族会に
多数の御家族の皆さ
んの御参加をいただ
きまして、誠に有難う
御座いました。ロータ
リーの 6 月の特別月
間は、ロータリー趣味、
職業別親睦活動月間

となっております。

又、6 月の誕生石はパール、誕生花はチューリップ
でチューリップの花言葉は名声高く、愛の告白をする
花だそうです。今さらの事では、ありませんが
ロータリーと言えば奉仕と親睦が合言葉の様になっ
ておりますが、今年度は親睦に重点を置いていただ
くべく名手親睦委員長はじめ親睦委員の皆さんにお願
い致しておりましたところ、いろいろ御配慮をいた
だきまして家族会ここイングランドの丘を選んでい
ただきました。梅雨期に入っている関係上天候が心配致
しておりましたが、まずまずの天候に恵まれました。
今日一日は童心に帰って家族で楽しくお過ごしをし
ていただきたいと思います。

6. 幹事報告

メーカーアップ

有田南 R C	平尾寧章君	6/1
和歌山 R C	花畑重靖君	6/1
和歌山西 R C	中尾公彦君	6/2

例会臨時変更のお知らせ

海南西 R C 6 月 17 日(木) 6 月 19 日(土)
18:30 ~ 「ふじ村」
打田 R C 6 月 24 日(木) 6 月 26 日(土)
19:00 ~ 「八百亀」
和歌山南 R C 6 月 25 日(金) 6 月 25 日(金)
18:30 ~ ウェルサンピア和歌山
和歌山北 R C 6 月 28 日(月) 6 月 28 日(月)
18:30 ~ 一橋庵 別館
和歌山 R C 6 月 29 日(火) 6 月 29 日(火)
18:00 ~ フロラリア (県民文化会館)

休会のお知らせ

和歌山北 R C 6 月 14 日(月)
打田 R C 6 月 17 日(木)
海南 R C 6 月 30 日(水)

7. 次回例会

平成 16 年 6 月 16 日(水) 16:00 ~
和歌山マリーナシティヨット倶楽部 2 F

8. 閉会点鐘

*** ニコニコ・BOX ***

6 月お祝い

会員誕生日

3 日 宇恵弘純君
10 日 角谷勝司君
30 日 中谷秀文君

奥様誕生日

16 日 西川智代様
17 日 上中由貴様
22 日 寺下十茂子様
23 日 上野山衣利子様
24 日 田村純子様

結婚記念日

19 日 倉橋利幸君

一般ニコニコ

瀬藤友子君 多数参加ありがとうございます。親睦、職業奉
仕委員会の皆様ご苦労様です。
宮田貞三君 親睦委員長さんご苦労様です。
前窪紀文君 今日は、どうもありがとうございます。ま
す。

四つのテスト

真実かどうか 好意と友情を深められるか
みんなに公平か みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 田中丈士 幹事: 宮田貞三 SAA: 瀬藤友子

早川久子様 "
 桑添養子様 "
 上芝えり子様 "
 谷口裕子様 "
 宇恵恭子様 "
 山名正一君 イングランドの丘への参加ありがとうございました。
 山畑弥生君 お天気になって本当に良かった。
 塚本義信君 孫2名、計4名お世話になりました。
 楽しい一日を過ごさせて頂きました。
 小椋安子様 楽しく参加させて頂いています。
 上中嗣郎君 "
 深谷政男君 "
 桑添 剛君 "
 谷口誠也君 多くの御出席ありがとうございました。
 岡田雅晶君 孫、共々お世話になりました。
 田村能孝君 "
 名手広之君 家族会バス旅行に皆さん大勢出席
 いただきありがとうございます。



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

100周年に手を貸そう

2003-04 RI 会長 Jonathan B. Majiyagbe



国際ロータリー会長としての最終月を迎えるに当たり、この2003-04年度にいただいた皆さま方からの協力や励ましに対する感謝の言葉を、どのように書き始めようかと思悩んでいます。

私がかぶっているシカゴの野球帽の話からでも始めることにしましょう。これは、2005年に私たちが100周年を祝う、ロータリー発祥の地への敬意の表現でもあります。

ロータリー家族からの恩恵

今年度、私が強調したことの一つは、ロータリー家族でした。しかし、私の任期の初めころには、この提案から私自身がどのような恩恵を受けるかを予想することができませんでした。

一年前、私の愛妻のアデが亡くなったとき、世界中のロータリアンの皆さまから寄せられた慰めやお悔やみの数々は、疑いもなくロータリーが本当に巨大な家族であることを示していました。

私自身の家族を代表して、女性と子どものための教育に充てられる、「アデ希望基金」にご厚情をお寄せいただいた方々に、お礼を申し上げたいと存じます。ロータリー財団のこの特別基金を通じて、生産的で独

立した世界市民となるための教育を受けることになる、数多くの女性や子どもたちとともに、アデの思い出は生き続けていくことでしよう。

手を貸そうは素朴な優しさの表現

また、今年度のRIテーマである「手を貸そう」が、多くのロータリアンたちからの深い共感を得たこと
 もうれしく思っています。さまざまな国境や文化の壁を超え、ロータリーの本質をとらえるということは、自然な優しさを表れです。この言葉の真意は、人道主義や他人への奉仕を議論するとき、いつの時代にも、世代に関係なく、繰り返し語られてきました。

たとえば、よく知られた作家で、1900年代初めの上院付牧師でもあったエドワード エベレット
 ヘルが、かつて「見下すのではなく尊敬しよう。後悔するのではなく、前を見よう。内を見るのではなく外に目をむけよう。さあ手を貸そう」と書いている
 ということを、最近、あるロータリアンが教えてくれました。ロータリーの創始者ポール P. ハリスも、『THE ROTARIAN』の1912年9月号に「私たちが暮らしている地域社会の幸せに無頓着であつたり、人々の関心事
 を実行するのに手を貸すのを嫌がるようであつてはならないというのは当然のことである」と書いていま
 す。今日のロータリアンたちが、そのような気概と熱心さをもった考え方を取り入れているのも不思議な
 ことではないのです。

ロータリー親睦活動とともに奉仕を

そしてまた、ロータリー年度の最後の月を、ロータリー親睦活動、すなわち、共通の楽しみ、職業、そしてロータリーの綱領の第1の概念を実行するという
 関心を共有するロータリアンたちに、その機会を提供する国際的グループに捧げるのがふさわしいでし
 ょう。それらは、奉仕の機会をともにする仲間たちなのです。

私は地区やクラブが会員たちに親睦活動に加わるように奨励することを切にお願いしたいと思います。それはロータリーでの経験を促進し、強力な会員増強と退会防止の道具となります。

ロータリアンの皆さん、私にとっての最後の手紙を書き終えるときがきました。今年一年、皆さま方のために尽くすことができたことを名誉なことと思
 います。そして、この機会が与えられたという謙虚な喜びは、生き続けていくことでしよう。

もう一つのすばらしいRI国際大会が、私たちには控えています。私たちが歴史的な100周年に向かって



前進するためにも、必要なところに手を貸そうとすることを決してためらわないでください。本当にありがとうございました。

2004-05年度ロゴマーク